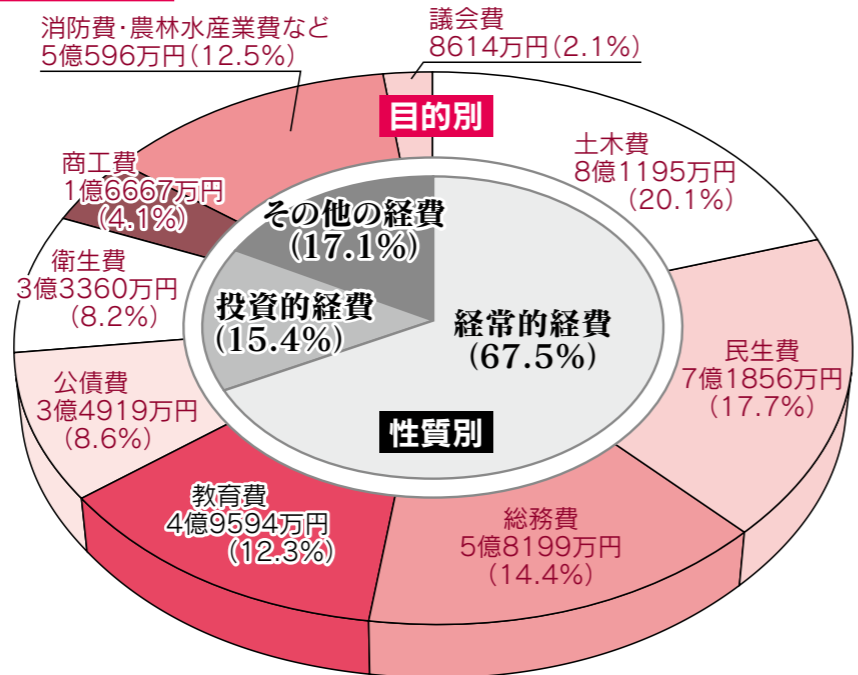


宅地造成事業特別会計に 5億2210万円

一般会計
40億5000万円

<性質別経費>
・ 経常的経費…事業費内の人件費や物件費、公債費など義務付けられた任意に節約できない経費
・ 投資的経費…公共施設などの整備、建設に必要なとされる経費

<目的別経費>
土木費、民生費、教育費などのように経費を行政目的ごとに分類したもの。



歳出 (使いみち)

総務費

- コンピュータ管理 5,085万円
- 村民バス運行 2,431万円

衛生費

- 黒川病院運営負担金 6,034万円
- 生活ごみ収集 運搬等業務 2,896万円

土木費

- 塩浪地区団地整備 1億773万円
- クリエートパーク 遊具更新 1,130万円

消防費

- 黒川消防署運営 1億611万円
- 村消防団運営等 2,079万円

商工費

- プレミアム商品券 2,811万円

民生費

- 子ども・子育て支援事業 1億5,333万円
- 障害者総合支援 8,974万円

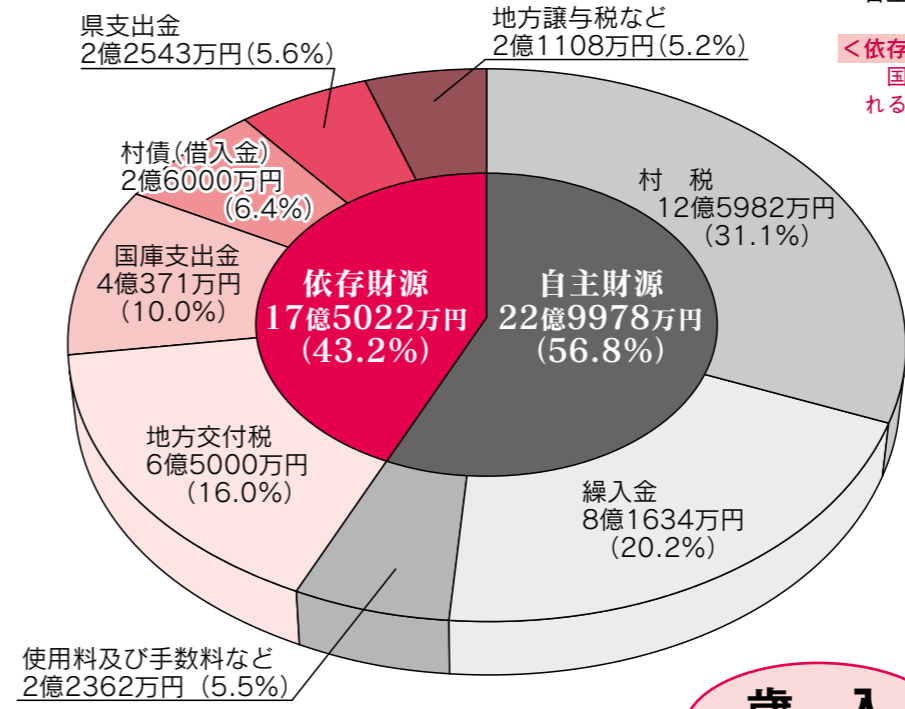
教育費

- 小中学校太陽光発電設備 8,595万円
- ときわ台 コミュニティ施設 8,285万円

農林水産業費

- イノシシ対策 電気柵設置助成 60万円

税金の使いみち



歳入 (財源)

平成27年度 特別会計予算

会計別	予算額
特別会計	
国民健康保険会計	6億1,920万円
下水道会計	2億6,923万円
介護保険会計	4億7,511万円
戸別合併処理浄化槽会計	4,172万円
後期高齢者医療会計	5,148万円
宅地造成事業会計	5億2,210万円
水道会計	
収益的収入及び支出	2億4,317万円
資本的収入	0.1万円
資本的支出	1,605万円

<自主財源>
村が自主的に調達できるお金
自主財源が多いほど、行政活動の自主性・安定性が高いとされる

<依存財源>
国や県の基準に基づいて交付されるお金

あらまし

平成27年第2回定例会は、6月22日から29日までの8日間にわたり開かれました。村長から提出された議案は、平成27年度の各種会計当初予算8件、固定資産評価審査委員の選任同意1件、条例の改正2件の11件と、議員提案による議会活性化特別委員会の設置の決議を審議し、全て原案の通り可決されました。その他繰越計算書の報告を1件受けています。一般質問は10人の議員が行いました。質問順に8ページから17ページに掲載しております。

27年度 予算は何に使われるのか



佐々木春樹 委員長

平成27年度の各種会計の当初予算を審査するため、予算審査特別委員会（委員長 佐々木春樹・副委員長 佐藤 貢）が6日間にわたり開かれました。

特別委員会では、各課長などに質疑を行い、慎重審議した結果、「可決すべき」と決定し、29日の本会議で議長に報告しました。

○ 主な質疑 ○

敬老会祝品

敬老者の人数と祝品の単価

敬老者は概数で9百名を想定、祝品は一人当たり2千800円を計上している。

祝品の選定方法は今年度からは課外の意見も参考にして選定を行う。

マイナンバーについて

具体的にはどのような制度なのか

日本の全住民一人一人に12ケタの番号が設定される。各部署が管理している情報を効率化し、住民サービスの利便性を高める。10月1日に通知カードが全戸に配布される。

イノシシ対策

捕獲用くくりわなは何基購入するのか
6基の購入を予定している。

イノシシ避け電気柵購入助成の概要は
電気柵購入に際し、補助率2分の1で上限額20万円の助成を行う。

駆除隊の後継者不足への対策は
補助員制度の導入や、農業に携わる人がくくりわな免許を取得できる制度を検討する。



イノシシ横断中!! (大瓜地区)

公園長寿命化対策

どの公園の何を長寿命化させるのか

今年度は万葉クリエートパークの歩道安全柵、あずまやのベンチ、園路の修繕を予定している。

その他の公園では五反田運動広場と緑水公園の安全性に問題のある遊具を撤去する。



公園遊具

住宅太陽光発電システム設置補助

住宅太陽光発電システム助成の金額は
村内工場で生産された発電設備なら出力1kwあたり10万円、上限35万円まで助成する。村外のは出力1kwあたり5万円、上限17万5千円。

グリーンボックス設置

助成の概要は

ごみ集積カゴのふたを重い鉄製のものからネット製に改修する費用として一ヶ所あたり3千500円を助成する。

カラス等の害獣のイタズラに弱いのは
先行導入した地区によると、問題ないとのこと。ゴミだしのマナーを守って貰えば、被害は抑えられる。

クリーンエネルギーカー購入補助

低公害車購入助成の金額は
村内工場で生産された補助対象車に6万円、補助対象軽自動車に2万円、それ以外の補助対象自動車に3万円を助成する。



改修後のごみ集積カゴ

ときわ台集会所

ときわ台コミュニティ施設の概要は
敷地面積約千㎡、建物面積238㎡、構造的には既存の集会所とほぼ同じ。

利用人数は
ときわ台団地と、塩浪の新興地の住民、合わせて200世帯弱を想定している。

備品購入の内訳は
宝くじ助成事業を利用して、テーブル、椅子、冷蔵庫、テレビ等を購入予定。

農業用ビニールハウス設置助成

助成の概要は

補助率2分の1で限度額30万円を設定している。比較的小さな設備を想定した村単独事業である。



ビニールハウス (松原地区)

全日本パークゴルフ大会

大会の内容は

NPCA杯第5回全日本パークゴルフ大会のペアの部が万葉パークゴルフ場で実施される。120組240名の選手が出場する。

村はどう関わるのか
大会の後援という立場になる。全国の選手に向けて大衡村をPRしていく。

回答者	表記
総務課長	総務
財務課長	財務
企画商工課長	企画
住民税務課長	住民
都市整備課長	都市
農林建設課長	農林
保健福祉課長	保健
教育学習課長	教育
公民館長	公民
監査委員	監査
会計管理者	会計

総括質疑

保健福祉課長の 長期休養について

1年間の休職辞令を発令

文屋裕男委員

保健福祉課長の長期休養により、業務に支障を来たしている。課長の不在により職員は大変苦勞している。長期休養を要する場合、公務員法では降任できるとあるが、村長の考えを問う。

また休職中でも80%の給料が支払われるということは、村民の理解が得られないと思う。

今回の委員会での保健福祉課の答弁は、答えが出てくるまで時間が掛かりすぎた。課長不在の弊害の表れではないか。できるだけ早く後任の課長を任命すべきである。

村長

当該課長は平成26年12月27日より平成27年6月24日迄の180日間病気休暇を取得している。

6月25日から1年間の休職辞令を発令している。休職処分を行う場合は、当該職員自身を保証する義務があり、本人に不利益になる降任は出来ない。復職後に職務の遂行に支障を来たす場合は適用される。

確かに課長不在で仕事に支障を来たしたという指摘は当然あるが、職員一丸となって努力してきたことも事実である。後任の課長を含めた人事を7月1日付けで発令する。

6月定例会

討論

(一般会計)

賛成

佐藤 貢 議員

当初予算は、総額40億5千万円で、前年度に引き続き、大型の予算編成になっている。歳入においては、自主財源が56・8%と前年度に比べ、約4ポイント伸びており、これからも企業誘致の継続、村税等の滞納整理と合わせ、財源確保に努めて頂きたい。歳出においても、補助事業、単独事業と有効的に計画され、大衡村総合計画に沿った施策が講じられている。今後も福祉・教育・農業・商業など村民の皆様が安心して暮らせるための村民生活に関わる充実した施策を計画されることを強く望み、原案に賛成する。

採決 賛成12・反対1

一般会計予算可決

特別会計6会計、水道会計は全会一致で可決

議会活性化特別委員会設置

地方自治の根幹をなす機関である議会が、これまで以上に住民の代表としての責任と役割を果たせるよう、かつての改革・活性化の取り組みを踏まえ、更に時代に適応した議会となるための改革・調査・検討を行う委員会が議員発議により提案され、全会一致で可決されました。

今後は右記の6項目の調査のため議長を除く全議員で構成された議会活性化特別委員会（委員長：細川幸郎、副委員長：齋藤一郎）が定期的に調査を行ってまいります。

委員会の調査項目

- ① 議員定数及び報酬に関すること
- ② 政務活動費に関すること
- ③ 議会運営等のあり方に関すること
- ④ 常任委員会等のあり方に関すること
- ⑤ 法規定以外での執行部付属機関への委員の就任に関すること
- ⑥ その他目的達成に関すること



主な条例の制定

大衡村介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法の改正により、低所得者の第1号保険料の低減強化を行うもの

大衡村保育の実施に関する条例の廃止

平成27年4月より施行された子ども・子育て支援新制度の導入により、旧制度の廃止を行うもの

次ページから 一般質問 10人の議員が登壇

小川 宗寿 P 8	○村内交通事情変化に伴う今後の整備計画は ○公営企業を外部委託する考えは	佐藤 貢 P 13	○萩原村政の今後の基本方針を問う
佐々木金彌 P 9	○塩浪住宅団地の造成を早急に ○住宅団地への補助金は	石川 敏 P 14	○教育施策の基本方針は
早坂 豊弘 P 10	○シルバー人材センターの設置は可能か ○教育施設の破損修繕を	小川ひろみ P 15	○職員に対する待遇は ○奨学資金の給付制度を考えては ○赤ちゃんサポートについて
齋藤 一郎 P 11	○万葉まちづくりセンターの運営は	遠藤 昌一 P 16	○村長の政治姿勢を問う
山路 澄雄 P 12	○萩原村長の基本的姿勢を問う ○塩浪団地の造成について	文屋 裕男 P 17	○不正入園の事実があったのか ○不信任決議の本当の理由は



小川 宗寿 議員
(一問一答)

一生懸命だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつける
これからも
一生懸命知恵を出します

村内交通事情変化に伴う 今後の整備計画は 事故多発箇所へ信号設置要望

議員

企業進出で村内全域に渡る交通渋滞、昼夜24時間、通勤者や物流車輛が通行している。西部地区である五反田から大瓜地区には、土曜、日曜は牛野ダム、ゴルフ場への車輛も多く見られる中、平日時において月一件自損事故や人身事故が起きているが事故対策等に啓発を講じているのか。



事故多発交差点(大瓜地区)

村長

近年村内交通量増加に伴い啓発活動として「大衛村通学路安全推進会議」を立ち上げ「通学路交通安全プログラム」を策定公表している。村道大瓜北側線と村道中島沓掛線の交差点信号設置は平成26年から継続して要望している。

議員

塩浪住宅団地は3月議会で予算不成立のため3ヶ月が過ぎた。今回特別会計を設定し、5億2千万円の工事費を計上したが、その進め方を問う。また分譲販売までの予定計画は。

村長

塩浪団地は平成25年より検討してきた事業で、今年伐採工事と造成工事を実施し、関連して防災調整池と流末の水路改修工事を予定している。今後は開発許可申請や工事発注に向け手続きを進めていき、今年度中に造成工事の完成を目指す。道路や上下水道のインフラも着手出来るようにしたい。

塩浪住宅団地の 造成を早急に 平成29年の分譲開始を目指す



佐々木金彌 議員
(一問一答)

住宅需要のあるうちに
やりたいね!



塩浪団地開発予定地

公営企業を 外部委託する考えは

今、考える段階にない

議員

公営企業経営改革として「上下水道経営」を持続可能に行う為、設備等経年劣化に伴う改修、計画変更を外部委託することで段階的に改修計画が極められ、収支状況から適切な財源バランスが得られると考えられる。また、戸籍事務、介護保険事務等「定型的な処理業務」を繰り返す事務職も想定しているが委託する考えはないか。

村長

公営企業は住民生活に身近な社会資本として住民サービスを提供する役割を果たす等、将来にわたって公共の福祉を増進する為、経営環境を適切に把握し見直しをしていく必要がある。水道事業40年、下水道事業23年が経過していることから計画的に更新計画をたてながら維持管理を中心としている現状である。役場窓口業務が年間8千件である。外部委託することで住民一人ひとりの顔が見える住民サービス向上に繋がるとは思わない。成功している自治体もあるがその段階ではない。

住宅団地への補助金は

現在の補助金を5年間延長

議員

村では分譲までの予定をどう考えているのか、住宅建設への補助金はどうか考えているのか。ときわ台団地は補助金制度が好評で早期完売になったと思える。若者の定住促進と人口減少対策として今後も続けるべきではないか。村内の古い農家の空き家について、定住の活用は出来ないか。

村長

今年7月に工事入札の手続きを開始し、翌平成28年3月までに造成工事を進めたい。冬場の雪の影響を考慮しながら良い工事をしていきたい。都市整備課と農林建設課が一丸となり対応していき、平成29年4月に分譲を開始出来るように進めていきたい。村では定住促進補助金を交付しており、平成31年度まで5年間延長し、PRをしながら人口増加に努力していく。空き家についても調査し、新規農業者へ利用できるか調べて検討したい。



早坂 豊弘 議員
(一問一答)

シルバー人材
あればいいのにな～

シルバー人材センターの 設置は可能か 実現は難しいが検討する

議員

厚生労働省の統計では、シルバー人材センターを設立し活動している自治体は、高齢者の健康状態が改善し、一人当たり6%の医療費削減に繋がっている。
高齢化が進む中、高齢者が活力ある生活を送るため、働ける場の提供を必要と考えるが。

村長

シルバー人材センターは、軽易な業務を請負・委託の形式で行う公益法人である。
本村では人口、需要の面を考えると難しい。
企業は比較的若い人材を必要としている。

議員

村内の企業・農業者が他町のシルバー人材を利用している。
県内には29のセンターが設立されている。中には本村よりも人口の少ない町もある。
本村でも必要ではないか。

村長

実現出来るかはわからないが、検討したい。

教育施設の破損修繕を

中学校と協議して検討する

議員

中学校の駐輪場は、屋根の赤サビや柱の腐食、土台の亀裂などが目立つ。事故が起きる前に修理が必要ではないか。

教育長

赤サビや車止めの破損などは、中学校の意向も確認しながら、修繕を検討していく。

議員

中学校のテニスコートは、老朽化が進み凸凹がひどく、中体連前の練習を一部他校で実施せざるを得ないなど、部活動に支障を来している。
コート改修工事費として平成27～31年の予算に3千5百万円が計上されているが、前倒し出来ないか。

教育長

出来るだけ早く改修できるように検討する。



中学校駐輪場



齋藤 一郎 議員
(一問一答)

透明性のある
村民の期待を裏切らない
会社を目指してほしい

万葉まちづくりセンターの 運営は 民間のノウハウを最大限に発揮

議員

第三セクターである万葉まちづくりセンターは平成17年3月に大衡村六百五十万円、JAあさひな百万円、旧宮城沖電気が百万円、郡内金融機関三社合せて百五十万円合計資本金一千万円で立ち上げた会社である。
指定管理者制度を導入し、公共施設の管理運営や公園除草作業を委託している。
村が65%を出資している会社を村長は官と捉えているか民と認識しているか問う。

村長

設立経緯から「官から民へ、民でできるものは民に委ねる」とし、基本協定に基づき管理運営は徹底している。

議員

一般民間会社の草刈作業や除雪作業、万葉美人の酒販売は販売基盤の弱い小売店や村内民間業者に任せるべきと思うが。

村長

多くの人が集まる施設（万葉おおひら館・パークゴルフ場の交流館）で販売することで村特産品のPRも兼ねている。

議員

まちづくりセンターの社員採用にあたってはハローワークを通じて募集すべきではないか。

村長

今は、ハローワークを通して社員を採用している。

議員

第三セクターを抱える地方公共団体は「第三セクターあり方針」や点検・評価更には経営指導出来る「第三セクター関与方針」を設けている自治体が多い。村も設けるべきと思うが。

村長

第三セクターは自らの責任において経営改善に努め、自立した経営を目指す必要から村としての関与を検討していきたい。



つるばみ苑除草作業



山路 澄雄 議員
(一問一答)

新しい村長と議員が誕生しました。
「負の遺産」を乗り越え
「新生大衡村」を実現できるか…

萩原村長の 基本的姿勢を問う

議員

元職員による横領・詐欺事件は、昨年12月24日、跡部前村長の要請で開かれた議会全員協議会において、「自分が幹部職員に指示・命令し隠へいた。全責任は私にある」と述べたが、その後、事件の全容が明らかにされていない。

村民と議会を欺いてきた、前村長の嘘で固めた3年間の真実を、当時の議会議長であった萩原村長には、村民に明らかにする責任がある。

村長

私は「もう終わった事件」と考えている。跡部村長は辞職し、村には実質的被害も無かったので、調査等を実施する考えはない。

塩浪団地の造成について 緩衝緑地帯等を検討する

議員

14億円の財政負担を行い「塩浪団地」の開発・造成が始まるが、小学校の東側・南側の山林は、小学校開設時より「環境緑地」として保全して、教育環境を守っていくとの認識があったと聞いている。教育環境を守るという観点から「緑地公園」等の計画が必要ではないか。

次に大規模な団地造成に伴う財政負担で危惧されるのは、オリンピック、円安等の影響による資材・人件費の高騰であるが、どの様に把握されているのか。
第3点は、大規模な造成工事に伴う、交通量の増加と騒音に対する児童生徒と地域住民の生活を守る施策を講じる必要がある、対策を問う。

村長

今後、実施計画の図面等を精査しながら、たとえば「緩衝緑地帯」のようなものを検討していきたい。

議員

大衡村の農業・農家の現状は後継者の減少、高齢化、そして農業所得の低下など、大変厳しい状況に直面している。こういった疲弊した農業・農家の立て直しを図る具体的な施策はあるのか。またこれまでの農業に対する支援策は継続していくのか。

村長

今年2月に議会議員、農業委員、そして認定農業者の方々に参加して頂き「大衡村の農業を考える会」を開催した。これからは継続的な実施などにより、安心して農業に取り組める具体的な施策を検討していきたい。これまでの村独自の助成も継続的に行っていく。

議員

村では県で定めた支援事業に加えて、万葉すくすく子育てサポートを始め、村独自の支援事業に取り組んでいるが、今後どのように進めていくのか。

また、高齢者・障がい者世帯における日常生活支援の環境整備を図っていく事も福祉政策として重要と考えるが。

村長

子育て支援事業については、現行事業の拡充として、ミルク・オムツへの助成事業を検討している。

高齢者福祉サービスについては、軽度生活支援事業や配食サービスなど、生活支援事業の充実に努めていく。
また、障害者福祉にも力を入れていきたい。

議員

人口減対策の一環として、住宅整備事業が施行されるが、定住促進のための対策をどう考えているのか。

村長

これからも定住促進事業補助金並びに子育て支援事業を継続していきたい。



佐藤 貢 議員
(一括質問)

村民に寄り添った政策を…
生きがいのある大衡村に

萩原村政の 今後の基本方針を問う 大筋で継承していく



農業を考える会



石川 敏 議員
(一問一答)

「教育・子育て・ひとづくり」を
村政の柱に

教育施策の基本方針は 教育委員会と 連絡調整し取り組む

議員

村長は施政方針の重点政策の中で教育にも力を入れていくと述べているが、地方教育行政に関する法律が昨年改正され、教育委員会制度が大きく変わってくる。

教育委員長と教育長が一本化され、教育長は首長が直接任命するなど首長が教育行政に関する権限と責任が大きくなっていく。

今後の教育行政政策にどのような基本方針で取り組んでいくのか。

村長

教育は国においても村においても家庭でも基本中の基本である。

地方教育行政に関する法律改正に伴い、大衡村総合教育会議を開催し、村の教育目標や教育施策方針等を網羅した「教育に関する大綱」を策定する。

教育委員会と協議・調整のもとに、より民意を反映した教育課題に即した政策の実現に取り組んでいく。



子ども会リーダー研修会

議員

前村長時代から取り組んできた学校教育や生涯教育の施策や村単独助成制度について、本年度予算編成にどのように反映したのか。

村長

豊かな人間形成のための学校教育の目標や生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進に取り組んでいく。

村単独施策事業は、本年度も継続していく。

議員

総合教育会議はどの部署が担当するのか。また、教育委員会が策定していた村教育基本方針はどう反映させるのか。

村長

総務課が担当する。教育目標や教育施策方針については、教育委員会と共通理解のもと、公平中立の立場で教育行政の充実に向けて取り組んでいく。

教育長

教育の最終目標は人材の育成である。新しい教育制度のもとに県の方針や大衡村総合計画に則り、中立・独立した教育行政を進めていく。



小川ひろみ 議員
(一問一答)

みんな笑顔で
住みたい、住んで良かった
と思える大衡村に

職員に対する待遇は 方策を検討する

議員

職員が良好な職場の中で働き、能力を発揮することは大事である。

①大衡村職員ハラスメント防止要項に基づく委員会の人員構成に医師、臨床心理士などを含める考えはあるか。

②職員の住居手当は、上限1万円である。近隣の町と同等の2万7千円にする考えは。

③現在、大衡村職員定数条例で定めている定数を満たしていない。今後の職員の採用をどう考えるか。

④行事に職員がボランティアで参加している。村長はこの対応をどう考えるか。

村長

①第3者を入れて構成している自治体もある。今後十分に検討する必要があると考える。

②近隣の町との整合性を図る観点から、今後考えたい。

③平成24年度において29年度を目標とした定数管理計画を策定し、定員目標を90名と定めている。目標に向けて、計画的に採用していく。

④今後、他方面から意見を聞き、方策を考え検討していく。



奨学資金の 給付制度を考えては

人材育成をしていく

議員

近隣に大学や専門学校のない本村では、通学・進学に経済的負担を強いられる。給付型奨学資金を導入する考えはあるか。村内従事者育成を目的とした事業も必要ではないか。

教育長

本村の奨学資金は、経済的な理由により就学が困難な者に対する教育の機会均等を図ることが目的となっている。給付型を創立するまでに至っていない。人材育成を考え検討していく。

赤ちゃんサポートについて

用途別サポート導入を検討中

議員

村長の公約では子育て支援の充実を図り、ミルク・おむつへの助成事業に積極的な検討をすると言っている。具体的な内容は。

村長

タクシー利用を含め、ミルク・おむつ購入など必要性に応じて使用できるように検討している。今まで以上のものにしていく。



遠藤 昌一 議員
(一問一答)

首長の発言は重いよ

村長の政治姿勢を問う

早急に課の体制を整える

議員

長期にわたり休んでいる課長は、どんな理由で休んでいるのか。給与関係はどうなっているのか。課内に支障はないのか。

村長

当該課長は昨年末より病気休暇を取得している。病名は個人情報なので公表出来ない。精神に係る疾患が回復しない為である。給与については、病気休暇の最初の6ヶ月までは全額支給だが、その後は80%が支給され、1年間は休職扱いとなる。管理職手当や通勤手当は支給されない。課内は参事を中心に業務を進めており、住民サービスに支障がないような業務を行っている。

議員

副村長も関係者として訴えられるとマスコミで報道があったが、その後はどうか。

村長

副村長については何も無い。

議員

今回の騒動を「男女間の関係でよく分からないが、早期の和解を願う」と言っていたがその意味はなにか。

村長

発言したこの意味については、村長の地位にあった人が紛争を継続するのは好ましくなく、早く当事者間で解決することを意としたものである。

議員

民事裁判中のことに、和解云々と触れるべきではない。

村長

口出し過ぎと感じた人には申し訳ないと思っている。



文屋 裕男 議員
(一問一答)

休職中でも80%の給料か…

不正入園の事実はあったのか

あったかどうか分からない

議員

前村長の弁護士が用意した資料によると、「前村長、副村長、総務課長の聞き取り調査では、子ども園の園長、保健福祉課長も不正入園について認めているが、途中から一転否定、前村長をパワハラ・セクハラで提訴した」とある。不正入園があったのか。

村長

不正入園があったかどうかはわからない。今は係争中ということでお答えすることはできない。

不信任決議の本当の理由は

全議員の判断である

議員

全員協議会では前村長はセクハラ・パワハラについて否定したにもかかわらず不信任決議した。どのような根拠、理由があったのか。

村長

私達が問題にしているのはセクハラ、パワハラだけではない。特別多数決を敢行したのは私だけでなく、その時の議員全員の判断である。

みんなの 声

動き始める村づくりに



大瓜下地区

堀籠 吉實さん

大衡村も新たな村づくりと進み、大衡村の味を、魅力を私達と共に作り出す村のリビングルーム（一家庭の会話の場と同じ）がほしいです。

私は専業農家となつて15年、50歳から農業に就職をして地域の方々と直産市場の経営を第一歩として、現在農業生産法人を設立し安心して住める地域づくりに、また自らの加工業も妻と営みながら楽しみと辛さが日々あります。

よく卵が先か鶏が先かと言われます。農業も補助金がかつた事業（行動）が先かと何事にも当てるはまる言葉です。農地の利用方法や農産物のブランド化を推し進め、さらに6次産業化として、大衡産の商品開発にも力を注いで、大衡村の根幹である農業、緑豊かな大地を大切にしたい。住みやすい村づくりを進めて頂きたい。

Topix



復興セミナーに参加

平成27年7月24日、加美町バッハホールにて宮城県町村議会議長会主催の復興セミナーに本議会より10名が参加しました。

地方と中央の復興に関する課題が2名の講師から述べられました。

固定資産評価審査委員



岡本 勝成氏

固定資産評価審査委員について議会の同意を求められ採決の結果、同意しました

任期：

平成27年6月24日～平成28年6月30日

あと
がき



3月定例議会において、議会解散、村長の辞職など、村はかつてない事態に見舞われました。

平成27年度の予算も決まらず、6月定例議会において、再度予算が提出され、予算総額40億5千万円が可決されました。

大衡村議会議員の一人として、村民の方がたに不安や混乱を与え、申し訳なく思います。今後、予算が正しく執行される様、住民の目線に立ち、主張し活動していきます。
(早坂 豊弘)

大衡村議会

広報編集特別委員会

- 委員長 小川 宗寿
- 副委員長 齋藤 一郎
- 委員 石川 敏
- 委員 早坂 豊弘
- 委員 佐々木金彌
- 委員 小川ひろみ